

(令和6年度補正分)

地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分)

個票

自治体名 長崎県南島原市

本事業の担当部局名 生涯学習課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業		
区分	重点メニュー		
関連事業メニュー	3.2.1 自治体間連携を伴う結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり_気運醸成		
個別事業名	結婚、妊娠・出産、子育てしやすいまちNo.1事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日
	事業開始年度	平成24年度	
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の合計特殊出生率の上昇のためには、「子育て支援」と「結婚支援」を少子化対策の両輪として推進しながらも、有配偶率の上昇を図るための結婚支援に一層力を入れることが最も重要である。 また、県・市町を挙げて機運の醸成に取り組んでいるものの、結婚・子育ての応募者がいまだ少ないことや、若年層の結婚・子育てに対する意識が十分でないことなども課題となっている。</p> <p><本個別事業の位置付け> 南島原市では若年層の意識醸成について講座の開催、情報発信に努めてきた。引き続き県による結婚・子育てに関する情報発信等と連携し、地域全体の意識向上を目指すとともに、若年層が、具体的なライフデザインを描けるような機会の提供に取り組む必要がある。また、南島原市コアサポーターをはじめとする支援者のさらなる拡大とスキルアップのため、支援者育成と実践支援に取り組むとともに、子育て支援と結婚支援等のネットワークを融合し、他の分野も巻き込むことで、支援者の拡大と子育てを応援する社会全体の機運醸成を図るもの。</p>		
個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	子育て支援人材の育成、スキルアップ	県の情報発信ツール(企業向けメールマガジン等)も活用し、市が実施する講座の周知広報、子育て支援人材の掘り起こし等を実施する。 <市の役割> 県の情報発信と連携を引き続き行い、さらなる子育て支援人材の育成・スキルアップを行ない、子どもの成長
	2	意識醸成に係る講演会の実施	県の情報発信ツール(企業向けメールマガジン等)も活用し、市が行う講演会の周知広報を幅広く行う。 <市の役割> 乳幼児期の健やかな育ちに大切なことや、ふれ合い・関わりについて学ぶ講演会を実施し、保護者や子育て支援者、地域住民に広く参加を呼びかけ、地域ぐるみの子育て支援の輪を広げ、機運醸成を図る。 ・開催回数(予定):年1回
	3	ライフイベントに係る学習会の実施	県が行う若年層の意識醸成策と引き続き連携して、小学生から高校生まで発達段階に応じた学習会を実施する。 <市の役割> ・学習会の開催 対象:市内小学校5回
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・講座等の開催が難しかったコロナ禍から、コロナ禍以前のように開催できるようになってはいるものの、事業から離れたままの支援者も多くいるため、個別に案内をしたり、現状を伝えたり、戻ってきやすい環境を作る。 ・講座や講演会において、なかなか申込が集まらなかったものの、参加者からの満足度は非常に高かった。周知の方法として、県のメールマガジンや市LINE等を活用し、また申し込みやすいとの声も多い電子申請を引き続き取り入れ、参加しやすい環境を整える。</p>			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	結婚支援事業による成婚数		組	3(R7)	0(R5)
	子育て支援センター利用者数		人	13,000(R9年度)	12,142(R3年度)
	放課後児童クラブ登録者数		人	780(R6年度)	788(H30年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.71(H30-R4)	
	婚姻件数		件	95(R4)	
婚姻率			2.3(R4)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	コアサポーター:参加者数	人	60(R7年度)	30(R6年度見込)
	②	保護者支援士:参加者数	人	20(R7年度)	17(R6年度)
	③	図書館サポーター:参加者数	人	80(R7年度)	67(R6年度)
	④	意識醸成に係る講演会:参加者数	人	100(R7年度)	71(R6年度)
	⑤	ライフイベントに係る学習会・中学生対象:参加者数	人	960(R7年度)	886(R6年度)
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	コアサポーター:参加者の意識変容率(満足度)	%	100(R7年度)	100(R6年度)
	⑤	保護者支援士:参加者の意識変容率(満足度)	%	100(R7年度)	95(R6年度)
	⑥	図書館サポーター:参加者の意識変容率(満足度)	%	95(R7年度)	91(R6年度)
	⑦	意識醸成に係る講演会:参加者の意識変容率(満足度)	%	70(R7年度)	65(R6年度)
	⑧	ライフイベントに係る学習会・中学生対象:参加者の意識変容率(満足度)	%	95(R7年度)	92(R6年度)